

第27回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団報告書 団長挨拶

中国日本商会ならびに日中経済協会からのお招きに応じ、2024年11月27日から12月4日にかけて、第27回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団一行は8日間の日本訪問を行いました。日本の経済界が支援する2007年から始動した青少年交流事業である「走近日企・感受日本」中国大学生訪日事業は、その客観性・緊密性・友好的・実践的との特色から中日青少年交流における有名ブランドとして関係各方面より高い評価を頂いております。ここに、中国日本商会、日中経済協会、各友好企業及び関係各方面の皆様のご長年にわたる同事業推進に対するご努力に敬意を表すると共に心より感謝申し上げます。

今回の代表団は清華大学、北京師範大学、對外経済貿易大学、中国石油大学及び北京語言大学の優秀な学生25名により構成されております。関係各方面による行き届いた段取りの下、代表団は日本滞在期間中、大阪、京都及び東京等の地に赴き、島津製作所、住友商事、みずほ銀行、ソニー、ホテルニューオータニ東京等の有名日本企業への訪問、京都大学や一橋大学の学生との友好交流の他、日比谷松本楼では偉人の功績について拝聴し、中華人民共和国駐日本国大使館経済商務処への表敬訪問を行うと共に中国日本商会の会員企業の従業員宅においてはホームステイを体験いたしました。関係各方面による行き届いた段取りにより、代表団の学生らは本当の意味で日本社会そして日本企業への知見を深め、日本企業の進んだ技術や経営管理理念及び伝統文化を目の当たりにしたなど多くの収穫が得られ、またさらに日本の同年代の若者との友情を育んだことで両国の平和友好事業における使者そして懸け橋となることが期待されるなど、今回の日本訪問は大成功を収めることができました。

中日両国は互いに重要な隣国であり、2000年以上にわたる交流の歴史においては平和そして友好が常に主流であり、それはまた両国の人々の共通した願いでもあります。先頃、習近平国家主席はペルー・リマでのAPEC非公式首脳会議期間中に石破茂首相と会談し、双方が戦略的互惠関係の全面的推進及び建設的で安定的な両国関係の構築に向け共に努力していく旨を改めて確認した他、ハイレベルの往来の維持、経済・貿易、人文、地域等の分野における交流や協力の強化に関し両首脳が合意するなど中日関係の発展及び両国の交流や協力における方向性を明確に示しております。

中日友好の基盤は民間に、未来は青少年にあります。私たちは今後も中国日本商会、日中経済協会及び関連日本企業と志を同じくし、「走近日企・感受日本」中国大学生訪日事業等の一連の事業を確実に遂行することで、青少年の友好の懸け橋をこれまで以上に構築し、より多くの中日の青少年が触れ合いそして関係を深め、手を携え共に歩み、両国の友好における新たな世代の使者そして中核となるよう後押ししていく所存であります。

最後に、今回の代表団の日本訪問に際して多大なご支援を頂いた中国日本商会、日中経済協会及び各関連企業、大学、機構そして中日友好にお力添え頂いた皆様に改めまして心より感謝申し上げます。

第27回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団 団長
中国友好和平発展基金会秘書長
徐賜明

2024年12月吉日